

令和5年度学校評価にもとづく改善策

滋賀県立河瀬高等学校

学校経営について

- ・中高一貫教育校としての特徴を生かして取り組んでいる内容をHPや学校案内により広報に努める。
- ・各行事とスクールポリシーを紐づけて見える化していく。
- ・学園祭、オープンスクールの他、保護者や学校関係者による授業参観などを積極的にを行い、教育活動を公開する機会を持つ。

学習指導

- ・学びの変革の取組や教科会議を充実させ、常に授業改善に努める。
- ・授業の相互参観や、授業の振り返りを活用したりして、授業改善に努める。

生徒指導

- ・基本的な生活習慣の確立をめざし生徒自身が主体的に動けるような指導を心がけ、問題行動の減少に努める。
- ・SNSの使い方等、情報リテラシーを育てる。
- ・「学校の生徒指導を自分の成長の機会ととらえる」ことができるような声かけを行っていく。

進路指導

- ・様々な経験をとおして、自らが進路を開拓できる力を養成する。
- ・大学等との連携をすすめ、生徒のキャリア意識の向上を図る。
- ・「生徒のニーズ」が何にあるのかをはかり、実態に応じた進路指導を行う。

特別活動等

- ・中・高一体化した部活動の在り方を考える。
- ・中・高一貫教育校を意識した行事(文化祭・体育祭・ボランティア活動等)の活性化を図る。

学校図書館

- ・図書館利用がさらに進むよう工夫し、読書指導をさらに推進する。

保健・安全指導

- ・スクールカウンセラーを効果的に活用するとともに、支援を要する生徒の情報交換会やケース会議をもとに、教育支援委員会を中心に支援方針の立案を行う。
- ・教育相談やカウンセリングについて、生徒や保護者にさらに周知するよう努める。
(日時・申し込み方法・学校以外の関係機関など)
- ・交通安全について指導の機会を増やし、ルールやマナーについての意識向上に努める。

人権教育

- ・差別やいじめを許さない学習環境の醸成を図る。
- ・人権統一LHRを充実させ、自己肯定感の育成、他者理解の推進を図る。

環境教育

- ・総合的な探究の時間においてSDGsを視点にした課題研究に取り組み、更なる環境意識の醸成に努める。
- ・日常の清掃活動やボランティア活動を充実したものにする。
- ・クリーンデーの意義を確認し、生徒が積極的に参加できる動機付けをする。

事務・管理

- ・中高一貫教育校に相応しい機器の導入に努める。

その他

- ・保護者への連絡機能を十分に活用し、学校情報の積極的な発信に努める。